

7月25日開催、第191回船主部会議事概要

当日、神戸市三宮東急REIホテルにおいて、藤井会長、原田担当副会長、寺岡副会長、藏本副会長、岡田副会長、臨席の下、標記部会を開催し、概要以下の通り審議した。

尚、本部会は新委員による最初の部会であることから部会長選出までの間、事務局にて議事進行を行った。

1. 部会役員を選出について

事務局は、部会規約について説明を行い、次いで部会長選出について諮った処、出席委員より前年度に引き続き、岡本委員を部会長にとの発言があり、審議の結果、満場一致で岡本委員を選出し、承認された。

(以下敬称略)

部会長 岡本 信也 (中海連) (重任)

岡本部会長は、議長に就任するとともに、副部会長を以下の通り指名し、満場一致で承認された。

副部会長 小林 道明 (和歌山) (重任)

〃 福村 忠司 (四海連) (新任)

〃 日浦 公德 (中海連) (新任)

〃 青崎 長太郎 (九海連) (重任)

議長は、当部会の正副部会長については、内タン船主部会とともに構成する船主連絡協議会の委員を兼務することから、併せて今後の協力方を要請した。

2. 平成29年度部会活動方針について

議長は、本年度部会方針について、全海運の事業計画に沿って活動するとともに、用船料適正化、船主の地位、船主経済向上に向けた活動を目指し、又、当部会として船主連絡協議会を全面的に支援していくこととしたい旨、提案し了承された。

又、委員よりオペレーター訪問時の用船料適正化の要請を例年以上にアピールすべきとの提案があり、現状のままでは更なる船員不足や若年船員育成費用の間

題、又、船舶修繕費用等を含め要望していくこととしたい旨説明し、了承された。

3. 平成29年度諸法制見直し検討委員会、委員の選出について

議長は、船主・輸送・砂利船の3部会委員によって構成される本委員会の委員について選出方を要請し、審議の結果、当部会として以下の通り委員を選出し、了承された。

委員	杉本	敏	(四海運)	(新任)
〃	畝河内	毅	(中海運)	(〃)
〃	木許	直樹	(九海運)	(〃)

4. その他

イ. 船主連絡協議会活動方針について

議長は、昨年度に引き続いて、適正船舶コストの算定、若年船員育成、オペレーター訪問時において用船料適正化の要請や船主の要望や問題点等の共有（今年度は、JFE物流㈱、NSユニテッド海運㈱、新日鐵住金㈱、新日本近海汽船㈱の4社を訪問予定）を図るとともに地方大会開催（今年度は、10月2日に広島市内で開催予定）による船主の抱える問題点の聴取を行う等、活動していくべく当部会として同協議会の活動を全面的に支援していくこととしたい旨提案し、了承された。

ロ. 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金について

事務局より環境省による物流分野におけるCO₂削減対策促進事業の二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金の2次募集について説明を行い、補助金申請に向けて、協力方を要請した。

ハ. 内航海運の活性化にむけて

「内航未来創造プラン - たくましく日本を支え進化する - 」

国土交通省による内航海運の活性化に向けた今後の方向性検討会の検討会委員

である藏本副会長は、先般、取り纏められた「内航未来創造プラン」について資料に基づき説明を行い、了承された。

以上で当日の会議議題を終了し、議長は閉会を宣した。

以 上

